

「一般」は増額
「特定」は新設
不妊症も一体で支援

島根県浜田市は4月から、不妊治療費助成の拡大に加えて、流産や死産などを繰り返す不育症の治療費助成を盛り込んだ「安心お産応援事業」を開始する。

一般不妊、特定不妊、不育の三つの治療分野が一体となった支援制度は県内初。

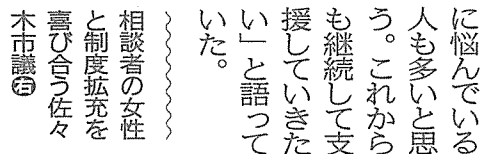
同事業では、人工授精などを行う一般不妊治療の助成限度額を、従来の年4万円から8万円に引き上げるほか、不育治療への助成については、1回の治療に対して5万円を上限に行う。

さらに、体外受精や顕微授精を行う特定不妊治療では、県の助成に加え、新たに市独自で最大7万5000円を上乗せする。県の助成対象は、夫婦の前年の所得が計730万円未満の世帯だが、それを上回っている場合でも市の上乗せ部分は助成する方針。

不妊治療を続ける女性から相談を受けた公明党の佐々木豊治市議は、2010年6月の定例会でこの問題

して5万円を上限に行う。さらに、体外受精や顕微授精を行う特定不妊治療では、県の助成に加え、新たに市独自で最大7万5000円を上乗せする。県の助成対象は、夫婦の前年の所得が計730万円未満の世帯だが、それを上回っている場合でも市の上乗せ部分は助成する方針。

不妊治療を続ける女性から相談を受けた公明党の佐々木豊治市議は、2010年6月の定例会でこの問題



を取り上げ、不妊治療への助成を行うよう求めていた。さらに、昨年12月の議会で再度質問し、不妊治療の助成拡充とともに、対象を不育症治療にまで広げるべきだと訴えるなど、一貫して後押ししてきた。

相談した女性は「粘り強く推進してくれたので、うれしい。これを機に、不妊治療などへの理解がもっと進んでくれれば」と期待を寄せた。佐々木市議は「声

深刻化している現状を強調。生徒の将来の進路に介護職を加えてもらうことを願いながら、「きょう学んだ成果を生かしてもらい、未来に役立つ皆さんになってほしい」と望

山田市議らは「公明党は、介護や介護職についての教育にも力を入れている。2016年度も小・中学生を対象に授業が実施できるよう尽力したい」と述べた。

県老人福祉事業協会の要望受け、公明が推進

車が多く通る丁字
路にカーブミラー

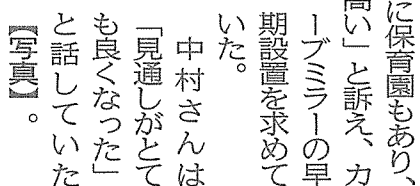
新潟・加茂市

新潟県加茂市芝野の丁字路に先ごろ、カーブミラーが設置され、喜ばれている。

車が多く通る。住宅地からこの道に出るときに見通しが悪く、住民が危ない思いをしていた。

近くに住む中村孝さんが公明党の三沢嘉男市議に「カーブミラーを設置してほしい」と要望。同市議が

この丁字路は市道にあ
るが、国道の渋滞を避けた

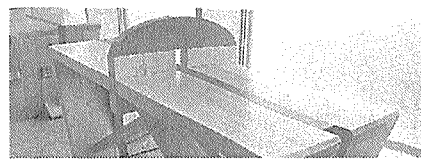


道が交わる三差
清掃され、地境
ばれている【1】
この三差路
く、スピードホ
車が多い。ま
近隣にある農地
流入し、側溝に
茂っていた。ま
住民から「雑草

28日(月)投票

秋田県小坂町議選（定数）の本田よし子候補（49）が出

示テルの社長が、入候補が圈内で動きを見せ、現から陣営の引起。共産は手堅る。




地元の高校生
た木製のベンチ

三差路の
清掃し安

千葉県八千代

と、大和田新田
道が交わる三差
角掃され、地味

はれている  この三差路
く、スピードを

軍が多い。また近隣にある農地流入し、側溝に汚れていった。住民から「雑草

